

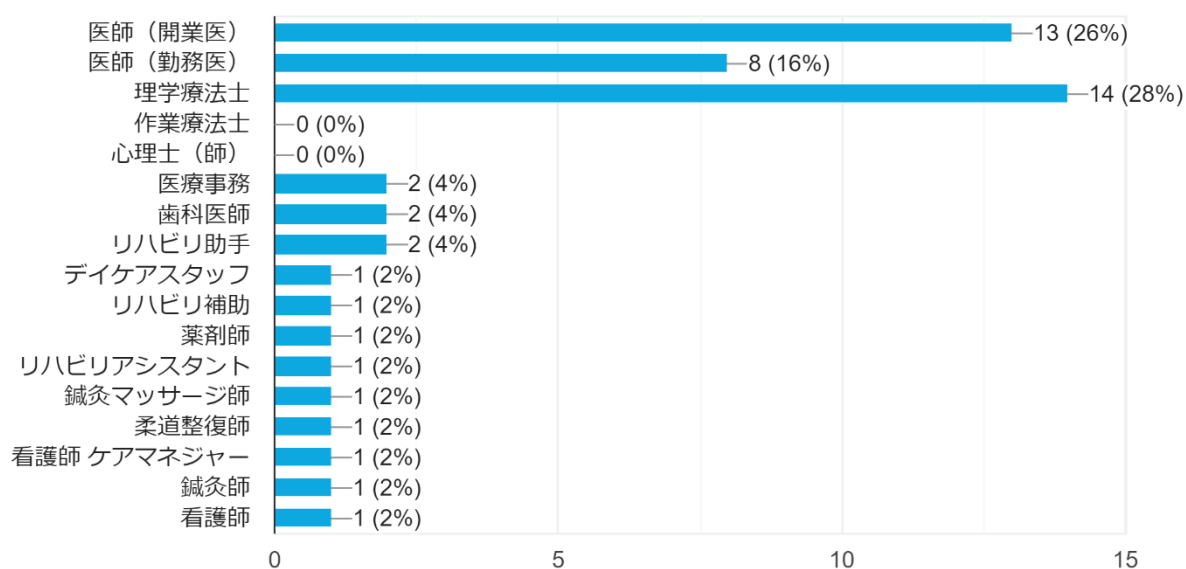
## 第2回開業医・リハビリテーション療法士セミナー アンケート集計結果

2022年2月11日（土）16:00~18:30（オンライン開催）

参加者数 計 83名（オンライン 75名 登壇者 8名）

### 1. あなたの職種を教えてください。

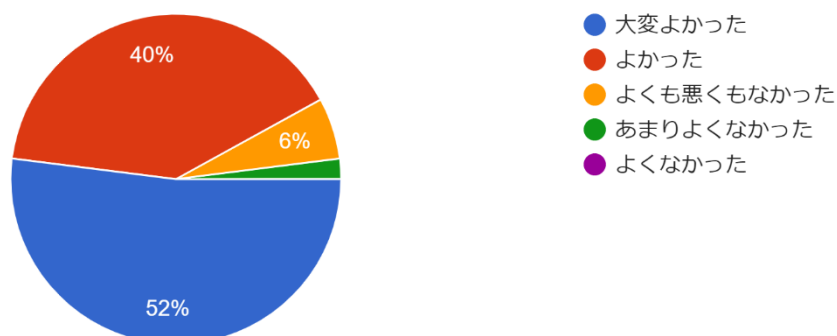
50件の回答



### 2. 各プログラムについて教えてください。

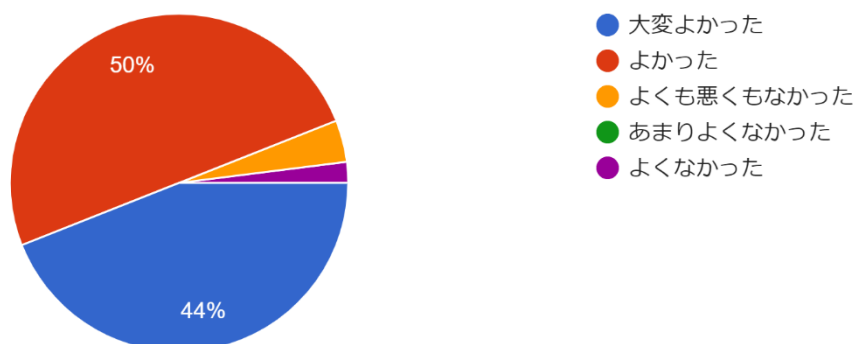
#### ②慢性痛のシュミレーション動画・解説

50件の回答



### ③ディスカッション

50 件の回答



#### 3. 本セミナーについてご意見・ご感想をご記入ください。

- ・慢性疼痛に関し、考えさせられた。
- ・Zoomのチャット機能を使用することで気軽にPTとしても発言ができた。
- ・動画がすばらしかった
- ・患者様が一番欲している要望を見極めることの大切さを学びました。
- ・先生方の専門的なご意見や、忌憚のないお話を聞けて非常に参考になりました。
- ・動画がとてもよかったです。
- ・臨床の現場で「あるある」と画面でうなずきながら拝見していました。ありがとうございました。
- ・対象者がはっきりしない。
- ・保険診療の中で慢性痛を扱うことの難しさなどが実際に臨床をされている先生方の口から聞ける機会があるのはとても貴重でした。
- ・動画が臨床で遭遇する事が多くてとても内容が面白かったです。
- ・慢性痛のシュミレーション動画は、日常臨床での光景であり、パネラー意見や解説など参考になった。
- ・リハビリあるある大変共感させていただきました。本音でのディスカッション大変参考になりました。明日からまた頑張れる気がします。ありがとうございました
- ・講師の先生方の声が、滑脱悪かったです。身内で討論してますが、知りたい情報が、なかなか出ません。とにかく、退出者も時間とともに減っていきますね。
- ・患者への運動の勧め方など参考になりました。
- ・慢性痛患者さんはしんどい！という感じがよく理解できました。
- ・あるある動画が実際にあるあるすぎて他のクリニックの対応など視聴できてとても参考になりました。

- ・動画がリアルで感心しました。
- ・症例の動画が、よく出会う日常の患者さんでとても参考になりました。
- ・他の職種のことをよく分かった
- ・普段接触することがない他科（整形の先生や理学療法士の先生）の先生のご苦労の点、患者さんからのプレッシャー、など歯科と全く変わらず、悩まれているところも同じである事よく分かりました。ただ、歯科の場合は「歯」というはっきりした対象部位があり 特に痛み主訴の患者さんはそこに固執し、「この歯」をなんとかしてくれという要望がものすごく強く、前医はほぼその歯に対し 不可逆的処置をしていることが多く、すでに慢性疼痛なのか その処置の問題により 痛みが継続しているのか、分からなくなっており、（下手をすると逆効果と分かっている）その歯を全く処置しないで患者さんを帰すことも出来ず、また 痛みの回復を長期的に示すことがなかなか難しい事も多々ありますが、顎顔面痛に対しては今回のセミナーでの対応と全く同じ進め方が出来ると考えられます。ただ、これも歯科開業医では運動療法も含め（これでいいのか不安になりつつ）全て1人 Dr. が行わなければならず、それに対して見合う点数もなく診療時間での対応も電話での対応も、厳しいところがあり、病院口腔外科以外の歯科は集学的な輪の中に本当に入れるのか難しく感じます
- ・開催日時が良い。
- ・医療の資格を持たない、受付スタッフ、リハビリ助手等でも、患者さんへの声掛けで、患者さんのモチベーションを変える事ができる事を学びました。
- ・臨床でよく遭遇する対応に困る場面とその対応について、今後の参考になることが多かったです。
- ・慢性疼痛患者の外来診察で、あるある風景が、よかった、それぞれの先生方も、多様な患者対応で、悩む事柄を 共有出来た感じがした。 これからも、 いろんなケースを 想定して 診断する手がかりや、治療効果を高めるような場面を セミナー参加者自身が考える、回答する、ような症例提示を、見させていただくのも興味が湧きます。

#### 4. 今後のセミナーについてのご要望がありましたらご記入ください。

- ・引き続きお願いします。
- ・今後とも機会がございましたら視聴させていただきたいです
- ・このデモンストレーションから先生方だったらどう伝えるや、どういう治療をするのか、私見を交えた具体例のある講義をしていただけるとありがたいです。
- ・慢性痛に総合的対応が必要なので、そこは基本として、最初に説明してほしい。
- ・問診や評価のコツなど
- ・リハビリの実践方法
- ・参加者には資料や議事録がほしい
- ・慢性疼痛患者さんの分類～鑑別方法の共通化

- ・今回も有難うございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・対処療法など詳しく教えてほしい
- ・上記しました歯科の特殊性がありますので 歯科においても 今回のような形のロールプレイングを含めたセミナーがあれば 良いなと思いました。
- ・今回みたいな集学的な展開が見てみたい。
- ・医療の資格を持たなくても、患者様の治療に参加できるモデルを紹介して欲しい。
- ・今回のような今後の教育ツールの作成を意識したセミナーが増えるとよいと思います。
- ・また、メール等で、しらせていただきたいと思います。

## 5. その他

- ・運営、動画作成の皆様ご苦労さまでした。
- ・慢性痛には、最近の慢性疼痛治療薬より、ノイロトロピン、トリプタノール、ランドセン、漢方などの古くて安い薬が有効なので、それを知って欲しい。
- ・後日のオンデマンド配信を希望
- ・講師陣メンバー決まっていますので、柴田先生にまとめて話してほしいです。
- ・なし

## 6. 本セミナーをどこでお知りになりましたか。（複数回答可）

50件の回答

